

令和元年 10 月の市民の声（全 7 通のうち 5 通）

◇道の駅でのイベントについて

【ご意見・ご提案など】

今泉博物館の広場で催されてきた文化祭・農業祭、とてもたくさんの催し物があり、テントのお店も出て、大勢の人出で（5万～4万人）楽しみの行事でした。

お年寄り、子供みんな家族で豚汁を食べながら小学生・中学生の演奏、保存会の舞踊を見る。人が集まればお金を使い買い物もする。そして大勢の人出の楽しい雰囲気、お祭りの気分を味わえる。家からあまり出かけない人達には心の憩い、安らぎと思います。

この間、稲刈り体験があった時もテントがいくつも張られ人出があり、あの広場は何か催されれば人が集まる所と思いました。

それが、昨年からどうして文化祭・農業祭のイベントをやらないことになったのか。実にもったいない。残念です。

野球やテニス等、一部の人だけでなく、車に乗れない人、お年寄り、子供等家族で楽しめる行事、今泉の中でも、生花、植木、お茶、書道、絵画、手芸等素晴らしい文化祭ができると思います。

何をやるにも主催者側は大変と思われませんが、みんなの市民のため、それが仕事ではありませんか。ぜひ、今泉で文化祭・農業祭を催してください。みんなの声です。

（令和元年 10 月 9 日）

【お返事】

今泉記念館周辺では、平成 6 年頃から「しおざわ産業まつり」を開催していました。合併前、このまつりは旧塩沢町を代表するイベントであり、国道 17 号に面する好条件にも恵まれ、住民や観光客など多くの来場者がありました。

旧 3 町それぞれで開催されていた「産業まつり」は、平成 17 年の合併以降、「八色の森市民まつり」に統合されました。しかし、旧六日町地域では「ふれあいまつり」（平成 28 年度終了）、旧塩沢地域では「秋の収穫祭」として、以前より規模を縮小して行われていました。

「秋の収穫祭」が行われていた今泉記念館周辺には、施設の活性化と有効利用のため、平成 24 年 7 月に「道の駅南魚沼」がオープンしました。道の駅がオープンしてからは、地域の観光拠点や地場産品の販売拠点となり、大変な賑わいを見せると同時に、来場する車も年々増加しています。近年では、年間で普通車が約 16 万台、バスなどの大型車が約 2 千台来場し、来訪者も 40 万人を超え、休日には駐車場が概ね満車になるといった状況です。

このため、「秋の収穫祭」における今泉記念館周辺道路の交通渋滞対策や会場内の安全確保が著しく困難になりました。関係する団体で協議を重ねた結果、継続できないとの判断により、残念ながら平成 28 年に開催を終了したものです。

何卒、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

（担当：商工観光課）

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

◇新ゴミ処理施設について

【ご意見・ご提案など】

群馬県のカリビアンビーチのように、ゴミ処理施設の熱を利用した温水プール（室内）があるが、私も行って見て最高にいいと思った。真似をしてみても。ゴミ処理施設の隣にある。反対する人も少ないと思う。

（令和元年 10 月 11 日）

【お返事】

新ゴミ処理施設の付帯施設につきまして、積極的なご提案をいただき、大変ありがとうございます。

可燃ゴミ処理施設からは大量の熱エネルギーが排出されます。全国では、その熱エネルギーを温水や電気として有効利用する事例がたくさんあります。現在、2市1町で建設を進めている新ゴミ処理施設においても、熱エネルギーを有効利用したいと考えています。

ご提案いただきました、大規模な温水プールは、計画しているゴミ処理施設の規模から考えると困難かもしれませんが、健康増進を目的とした歩くプールや、小規模な温浴施設などは可能ではないかと考えています。ほかにも、農業施設への利用や、発電して近隣の公共施設に電気を供給する方法などが考えられます。現在、処理するゴミの量や、処理工程で発生する熱量を推計し、どのような利用方法が可能なのかを検討しているところです。

しかしながら、まだ建設地が定まっていない状況ですので、詳細につきましては建設地近隣の方々と協議し、市民の皆さんに喜んでいただけるような施設を整備していきたいと考えています。

（担当：新ゴミ処理施設準備室）
問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

◇避難勧告の発信遅れについて

【ご意見・ご提案など】

いつもお世話になります。

先日の台風 19 号での避難勧告についてですが、21 時 30 分に発令された避難勧告が、南魚沼市防災情報の LINE アカウントからメッセージが届いたのは 22:28。約 1 時間遅れです。あまりにも遅すぎるのではないのでしょうか。

大事に至らなかったからよかったものの、もし河川が氾濫していたらこの約 1 時間の遅れは文字通り致命的な問題に繋がっていた恐れもあります。

南魚沼市防災情報のツイッターで懸命に LINE の追加を呼びかけていたので登録したのに、通知が届くのが 1 時間遅れというのはあまりにも杜撰ではないのでしょうか。

会社がちょうど避難勧告の出た地域にあるため LINE の通知を頼りにしていましたが、1 時間遅れの通知にびっくりしました。

むしろ更新の通知も来ない Web サイトより、携帯に通知が届く LINE の方がすぐに市民に避難を呼びかけることができるのだから、WEB サイトの更新よりも優先度は高いのではないのでしょうか。

WEB サイトの内容をそのままコピーすれば 1 分もかからず LINE もツイッターも配信できますよね。

しっかりと改善してほしいです。

(令和元年 10 月 15 日)

【お返事】

南魚沼市防災情報の LINE アカウントからのメッセージにつきましては、2019 年 10 月 12 日 21 時 30 分に発令した六日町地区魚野川沿いの地域への避難勧告を、LINE で情報発信できたのが同日 22 時 28 分であり、58 分の遅れが生じてしまいました。これは、あまりにも遅すぎるとのご指摘のとおり

であり、誠に申し訳ありませんでした。

この度のことを真摯に受け止め、今後は情報の発信体制を改善し、細心の注意を払って速やかな情報発信に努めます

(担当：総務課)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

◇台風 19 号の避難勧告について

【ご意見・ご提案など】

台風 19 号避難勧告について一言。

南魚沼市内の各地で避難勧告が出ていたと思うが、勧告が出ていた地域の住人ですが、テレビを見ていて家で見てわかりましたが、市役所の広報車がまわってくるわけでなし、行政区の区長もまわってこない。テレビを見ていなかった人はわからなかったと思う。もう少し良い対応をしてもらいたい。

(令和元年 10 月 18 日)

【お返事】

台風 19 号に関する避難勧告発令時の広報活動については、テレビの NHK データ放送（字幕）やエフエム雪国でのラジオ放送のほか、携帯電話・スマートフォンによる登録制メールの配信、市ウェブサイト、スマートフォンアプリ（LINE、ツイッター、Facebook）により行いました。

また、避難勧告の対象となった行政区長には電話で連絡しましたが、区内への周知については行政区によって対応が様々だったと伺っています。

今後は、広報車での広報活動も検討していきます。さらに、区の役員、消防団との連携についても、今後の課題であると考えています。

(担当：総務課)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

◇観光地としてのキャッシュレス化について

【ご意見・ご提案など】

先日、実家に帰った際に丁度「本気井」を知り外食をいたしましたがいずれも現金のみでカード等全く使えませんでした。現金をあまり持ち歩いていなかったのが焦ってしまいました。勿論、お店に現金のみの張り紙はありません。キャッシュレスを推進している今この時期にちょっと沿わないと思います。

昨年話にはなりますが予約しないとなかなか入れないお店でありながらレシートも出ない（レジを置いていない）お店もありでビックリしました。

勿論、経費のかかることではありますが、観光客からしてみれば観光地だからこそ現金をあまり持ち歩かずカード決済等を望むのではないのでしょうか？

市として観光でお客様を呼び寄せたいのならそういうことを率先してお店側にアピールするべきではないかと思いますがどうお考えでしょうか？

(令和元年 10 月 23 日)

【お返事】

貴重なご意見をいただきありがとうございます。

当市でも、飲食店・宿泊施設等のキャッシュレス化を推進しており、市観光協会や市内商工会を通して市内業者向けの説明会を随時開催し、キャッシュレス化によるメリットをアピールし、設備の導入を推進しています。現時点では、まだ事業者のキャッシュレス化に対する意識は低く、導入の動きも鈍い状況です。

これは、キャッシュレス決済システムが事業者に浸透していないことや、お客様の利用頻度に対する設備の導入・維持費用や手数料との費用対効果について、懐疑的に捉えている事業者が多いためと考えられます。これに対処するため、今

年度は事業者の負担軽減策について市観光協会と協議を進めています。

当市において観光地域づくりを推進していくためには、キャッシュレス化やレジ周りの整備は必須要件と考えています。今後も継続して普及推進に努めていきます。

(担当：商工観光課)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658